

練馬区

清心幼稚園







**より強く、より明るく、より仲よく**  
**センスオブワンダーの世界を大切にし**  
**感じて・考えて・行動する**  
**たくましい子どもに育つよう保育しています**



# コロナ禍における園での見解

**日本小児科学会**と**日本小児医学会**の  
見解に基づく。

子どもの**成長発達**を**最優先**  
に判断する。

# 3密

## 保護者に適応



幼児の十分な発達に  
**身体的接触が不可欠**  
子ども同士のかかわりを優先





家庭での  
検温・報告



登園時の  
子どもの  
手指消毒



登園・降園時間に  
時差をつけ  
保護者の密を防ぐ



園の考え方・対応を  
保護者に伝えたいうえで、  
出欠席などの最終判断は  
**保護者の判断に委ねる**







マスクをつけて顔が隠れていると  
子どもとのコミュニケーションが取りづらい

フェイスガードにすることで  
表情を見せて保育することができる  
**保育者の子どもに対する  
反応の一瞬を大切に**





心身の発達につながる

# ポニーとの活動



ねらい

~~ただ「楽しく乗馬をして  
触れ合うこと~~



ねらい

自分より体が大きな動物を相手にして、  
思い通りにならない経験をする

言葉が通じないポニーに対して、  
触れ合いを重ねて心を通わせていく





年少・年中と草あげの経験をしてから  
年長で**1年間を通して**触れ合っていきます



# ポニー屋 吉川さん

保護したポニーを連れてきてくださる  
10年以上のかかわり



ポニーとの触れ合いを通じた保育  
に協力して下さっています



# ポニー小屋の見学

おおきい！

触れ合いの第一歩 春の遠足  
大きなポニーに驚く子どもたち

こっちみてるよ！



**！**  
**●** 一頭一頭の模様や色の違いに  
触れ合いを通して気が付きます

このこは かみのけが  
しろいね！



# 草取り

吉川さん

ネギのにおいをする  
草は食べないよ

吉川さんから草とりのポイントを聞きます





**においを嗅いで、ポニーが食べられる草かどうか確認しています**









**ポニーが食べられる草を見つけると、かっぱい草をとる姿も見られます**



A group of four children, two girls and two boys, are walking on a paved path outdoors. They are all wearing light blue caps with green flaps. The child on the far right is also wearing a colorful patterned face mask. They are carrying a large yellow plastic basket filled with green grass and small white flowers. The child in the foreground on the left is wearing a light pink zip-up jacket and red shorts. The child next to her is wearing a pink and white striped shirt and floral patterned pants. The boy in the middle is wearing a dark blue long-sleeved shirt and dark green pants. The boy on the right is wearing a brown and white striped sweater and olive green pants. They are all wearing rain boots. The background is a lush green forest.

**ぼくじょうまで  
はこぶぞ！**

**かごいっぱい集めた草を友だちと力を合わせて牧場まで持って帰ります**



# 放牧観察

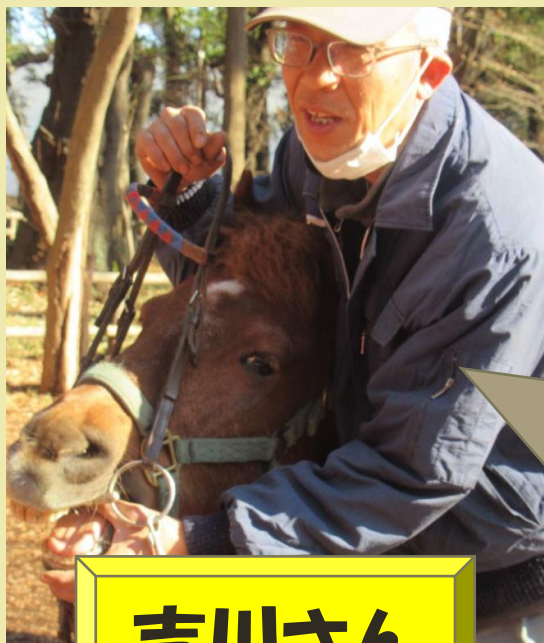
迫力満点!!!



牧場では、放牧の様子も見ます



しろいうまの シロが  
かえってこない！



吉川さん

よく気が付いたね！  
シロはよく、さぼるんだよ

吉川さんが子どものつぶやきを拾い、答えてくれることで  
自然な会話の中からポニーにもそれぞれ性格があることを知ります




# 草あげ・ブラシかけ

取ってきた草を、食べさせてあげます









どんなブラシが  
いいかな…？

様々なブラシの中から、それぞれのポニーに合うものを選びます





色々な大きさ・形をした  
ブラシを使って試しています





あったかいね  
ふわふわしてる

ポニーとの距離が徐々に近くなり、自然と体に触れています



みどいいろだ!

うんちした!

ウンチをする場面にも出会うことができました





ブラシについた毛をとり、バケツにいれています

こんなに“け”  
がとれたよ！





**寝てる間にバケツに  
入ってた毛が  
無くなってたんだよ！**



# バケツに集めたポニーの毛が、翌日に無くなることがあるようです



吉川さん

この毛はあったかいよね  
ふわふわしてて、  
気持ちがいいよね

なんでだろう...？



吉川さんは、子どもたちにヒントを伝え、次回に答えを教える約束をしてくださいました。また吉川さんとポニーに会える日まで、「なぜだろう？」と考えを巡らせる子どもたちでした。





かぜが ぶいて とばされちゃったのかな？  
だれかに めすまれちゃったのかな？

みなさんは

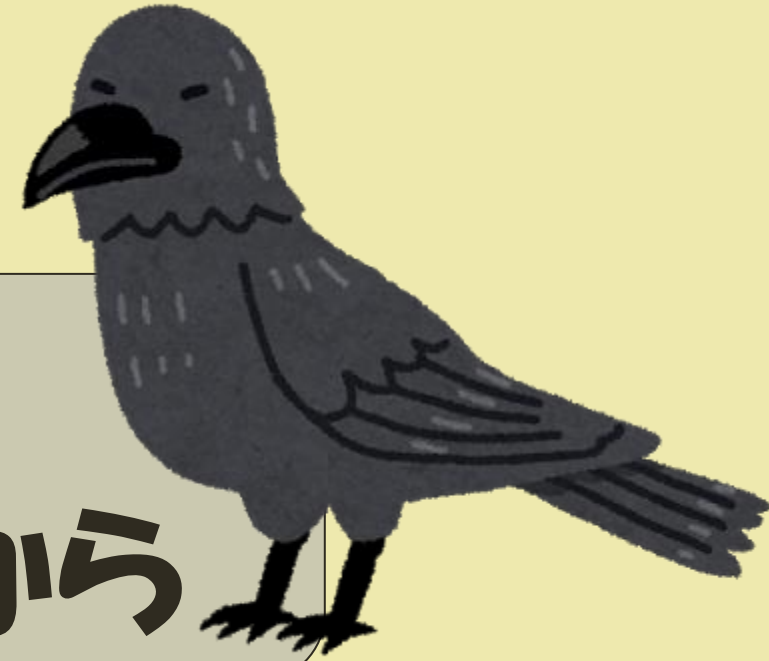
なぜだと思いませんか？





正解は・・・

カラスが巣を作るために  
毛を材料として取っていくから



前回聞いた、「温かくて気持ちがいい」というヒントから  
「といさんが おうちをつくるため！」  
と子どもから声が挙がっていました。



# 質問コーナー

遠足の最後には、  
吉川さんに疑問や印象に残ったことを  
質問・お話する時間があります

くさがだらんってしてる  
のをよくたべてたよ！

ネギのにおいの  
するのは  
なんでだめなの？

どうしてぽにーちゃんの  
“ば”は、おせんべ  
のいろしてるの？

子どもたちが1日を通してどんなことに  
興味関心を持ったのかが  
わかる大切な時間です





今年度もコロナに負けず  
大型バスで

特別感でワクワクの子どもたち  
笑顔が輝いていました







遠足当日の欠席者  
病欠1名

保護者のみなさまから  
大絶賛をいただきました！



対策をしながら前向きに取り組むこと、経験を大事にすることを大切にしたいと改めて感じることができました。



# もなかちゃん

おなかに  
あかちゃんが  
いるの!?



今年度、得に関心を集めていたのは“もなかちゃん”  
おなかに赤ちゃんがいることを知り、草をたくさんあげる姿や  
「いつ うまれるの？」と興味津々な様子の子どもたちでした。





「どんな あかちゃん うまれるかな？」と絵で表現する子も



もう うまれた？



あかちゃん  
みたい！

## 希望家庭対象の牧場見学ツアー

おかあさんと  
もようがちがった！

ちっちゃかった！


あかちゃんなのに  
あしが はやかった！

かわいかった！



吉川さんのご好意のもと、開催できた牧場見学ツアーでは年長組のほとんどの家族が参加しており、もなかちゃんとの継続した関わりができました。ツアーに参加できなかった子も、後日ビデオで赤ちゃんの姿を見ることができました。





綱は手に  
巻かないよ

吉川さん



綱をピンと張って  
足を開いて止まるよ

手綱の持ち方や使い方、安全の注意点など  
必要なことだけを聞き、実際に行う中で  
感じてその場で対応する力を育みます。



引綱





引綱のコースに、ポニーの大好きな草を置いておくと…





これが本当の  
**道草**

**ポニーは草に近寄ったり、食べ始めたいします。  
子どもたちは道草をさせないよう様々な方法を試します**





**だめー！**

**「だめ！」と言葉で呼びかけたい**





体をいっぱい使って手綱を思い切り引き上げたいします。  
二人で力を合わせる姿が見られ  
簡単には言うことを聞いてくれない相手に  
葛藤しながら試行錯誤して関わっていきます。

終わったあとの表情で  
達成感や安心感が  
伝わってきます





年少・中での触れ合い



草とい



草あげ



ブラシがけ



引綱

心を通わせ  
仲を深めて  
最後に...



乗せてもらえた！！



「怖いから」「言うことをきかないから」と途中で投げ出す子は今まで一人もいません。  
ポニーとの触れ合いの中で、保育者はポニーと関わるというきっかけを与えるだけです。

歯をくいしばり、手綱を力いっぱい握る姿から、真剣な気持ち伝わってきます。

自分の意志でやってみようとする、試行錯誤していくことが

「感じて・考えて・行動する」主体性を育てていくと考えています。



昨年度は…

ポニーとの触れ合いの後、「ポニーたちと何がしたい？」  
と投げかけて、絵を描きました



細く黒いペンで  
興味関心を細かく表現







ポニーとルーしたい！  
ぼくと、ポニーのちょこちゃん、きんちゃんに対決！みんなでならんでる！

男児6歳





ちよこちゃんと、ようちえんで さっかーした  
すべいだいで あそんで ごはんをたべた

男児6歳





ぼくが えさを あげている。どうぶつえんごっこした。  
はつめいひんもある あめも ふっているよ。

男児5歳





わたしと、ぽにーと、がーちゃんがかけてっこしてるの！

女兒6歲





おともだちと3にんで あそんでいる。  
ぶらんこの うえに ぽにーちゃんがいるよ。

男児6歳





ポニーちゃんとリレーしたい。おうだんほどう わたってきてるよ よしかわさんと！  
ようちえんに きてリレーしてる。おおきいバトンもってる。

男児5歳





きんちゃんとサーカスしたい！はじまるところだよ。  
ブランコのったり、タイヤのったりしてる。ちょこちゃんが、みにきてくれた！

男児5歳





ついでにうすのうえでおともだちとちよこちゃんと、  
ボールをなげてあそびたいな。

女兒6歲





ポニーちゃんといっしょに、こうえんでピクニックしてる。お弁当も食べてる。  
デザートにアイスクリームとチョコとビスケットもある。

女兒5歳





ポニーとおさんぽしたかった！こうえん100しゅうしたい。  
のたいしたい。とちゅうでテントウムシにあったよ！

男児5歳





**ポニーとの関わりから、子どもたちがお話を作り劇にした表現活動ではポニーを登場させてない姿も見られました。**





乗っている様子を表現したい





ポニーと合鴨が花いちもんめをするお話を作って演じたい



Three children are performing on a stage with a wood-paneled background. The child on the left is wearing a red top and a black headpiece with two long, light blue, pointed ears. The child in the middle is wearing a dark blue top and a black headpiece with two long, pink, pointed ears. The child on the right is wearing a white top and a black headpiece with a large, light blue, pointed ear. They are all looking towards the right side of the frame.

**ポニーが宇宙旅行に行く話を作って演じる子もいました。**









**ポニーたちが、なべなべそこめけを楽しむお話になるなど、想像を膨らませて子どもたちなりの世界を作っていました。**



## 生き物との関わり



園では、**4羽の合鴨**を飼っています。  
生き物との関わりの中で、**五感を通して主体的な活動を深めています。**

ポニーや合鴨だけでなく、**野外保育で出会う虫や鳥などの様々な生き物との関わりを大切にすることで、五感を通じた主体的な活動を深めています。**



コロナ禍で

# 今までの保育の見直し・新たな挑戦

行事や活動の  
再スタート

昨年度の気づき  
引き続き取り入れる



**遠足**・木工活動など…  
五感を使う活動や経験の大切さ



# コロナ禍の保育

# ~~活動を制限する~~

子どもの興味関心に寄り添い  
感じて・考えて・行動しようとしている  
目の前の子どもに向き合っていく





# 2021.8.21 第47回 幼児造形教育研修会 夏の研修大会

園長  
清水進

副園長  
清水早苗



年長組担任

細川恵美  
鈴木美の里  
吉川晴香  
鷺山萌

まだまだつづく